

会 議 録

<p>会議名 (審議会等名)</p>		<p>第 2 3 回 次世代に引き継ぐ 淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会</p>		
<p>事務局 (担当課)</p>		<p>都市計画課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 4 7 (直通) 生涯学習課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 8 7 (直通) 公園課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 4 3 (直通)</p>		
<p>開催日時</p>		<p>令和 4 年 9 月 2 5 日 (日) 午前 9 時 3 0 分 ~ 正午</p>		
<p>開催場所</p>		<p>けやき会館 2 階 職員研修所 大研修室</p>		
<p>出席者</p>	<p>市民検討会 委員</p>	<p>2 1 人 (1 6 ページのとおり)</p>		
	<p>有識者協 議会委員</p>	<p>4 人 (1 6 ページのとおり)</p>		
	<p>その他</p>	<p>4 人 (各施設担当者)</p>		
	<p>事務局</p>	<p>1 2 人 (都市計画課長、生涯学習課長、公園課長他 9 人)</p>		
<p>公開の可否</p>		<p><input checked="" type="checkbox"/> 可    <input type="checkbox"/> 不可    <input type="checkbox"/> 一部不可</p>	<p>傍聴者数</p>	<p>2 人</p>
<p>公開不可・一部 不可の場合は、 その理由</p>				
<p>会議次第</p>		<p>&lt;開会あいさつ&gt; 1 オープンハウス実施結果の報告について 2 基本計画 (案) 修正の方向性 (たたき台) について</p>		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。（◎は市民検討会委員の発言、○は有識者協議会委員の発言、●は事務局の発言）

## 1 経 過

都市計画課長による開会の後、要綱第5条第3項の規定に基づき、有識者協議会の野口会長進行のもと、傍聴の確認を行った後、9月9日（金）、10日（土）に実施したオープンハウスの結果について事務局から報告を行った。

その後、基本計画（案）修正の方向性について事務局から説明し、内容の共有と意見交換を行った。

## 2 議 事

## (1) オープンハウス実施結果の報告について

事務局から、資料1-1に基づき、オープンハウス実施結果について報告した。

## (2) 基本計画（案）修正の方向性（たたき台）について

◎： 説明に入る前に確認したい。今日この資料が出たことについては感謝している。表紙に今後更に加筆すると書いてあるが、先程のオープンハウスの結果を、どのように事務局が受け止めて、どう反映させていくのか確認したい。

●： 今回の計画の基本的な考え方に繋がるアイデアをまとめたのがオープンハウスのパネルだと思っている。パネルに対して街頭で話をしたが、おおむね委員の皆さんに考えていただいたことが受け入れられたと思っている。こういった基本的な考え方を基本計画の中に入れていきたいと考えている。

●： なぜこの資料を事前に送付できなかったかという点、まずオープンハウスを職員総出で実施したが、シールを貼っていただいただけではなく、オープンハウスの意義は、施設を利用されている方と話すことであると考えている。話したことを踏まえながら、元々作成していた資料も一から見直した。例えば、第2章は計画の基本方針と書いてあるが、オープンハウスを実施した肌感覚、皆さんがどのように考えているのか、市民検討会の皆さんと議論してきたが普段利用されている方、あまり知らない方がどのように受け止めるのか、そういったところも踏まえて最後まで修正作業を行っていた。本来、市民検討会の資料だと、有識者の先生方と事前に資料の内容について密にやり取りをしているが、今回は9月16日（水）に一度先生方とオンラインの打合せをただけであり、まだ有識者協議会として、これでいきましょうとまとまったわけではない。そういった状態のものが本日の資料である。

◎： つまり、この中にオープンハウスの結果も事務局で検討して、それも入っているということですね。分かりました。

委員の質問の後に、事務局から資料2に基づき、基本計画（案）修正の方向性のたたき台について説明した。その後、意見交換を行った。

◎： 一語一句の文言をちゃんと読み切れていないので、ここで意見が出なくても後から読んだ時にも意見を出す機会は頂きたい。

○： 文章量が多いので、しっかり読み込んで頂いた後、ご意見があったら是非お願いしたい。

◎： P2の2段目の「地域や民間に貸付け、売却などを行うことによる地域活性化や」と書いているところだが、やはり売却すると戻ってこないの、なるべく売却という言葉は使用せず、「貸付・賃貸して収益化を図る」方向で考えてもらえると嬉しい。

●： 昨年4月に策定した「相模原市行財政構造改革プラン」の中で、「既存の公共施設の見直し」ということで、本事業を含む多くの施設について、公共施設の廃止や見直し等の位置づけをしている。令和9年度までの7年間で行財政構造を抜本的に見直すこととしており、その際の財源をどう確保するかが非常に重要な考え方である。本事業については、跡地活用等、財源をどのように確保していくのか、そして、確保できる見込みがあるからこそ、事業の廃止等ではなく、引き続き推進すると整理している。民間への貸付けも含めて意向を聞きながら検討していく中で、行財政構造改革プランで位置付けがある売却・貸付け等については文言として、上位計画との整合性を保つという点で、この計画に引き続き入れさせていただく。今後の検討過程の中で、どのように財源確保していくのかにより変わってくる可能性もあるが、一つの目標として入れさせていただきたい。

◎： 国土交通省に出した資料には、民間は貸付けでは儲からないため売却でないと乗ってこないと書いてあったが、その理解は正しいか。

●： 以前行った官民連携導入検討調査の中の記載だと思われる。当時と現在的前提条件が少し変わってくると思われる。前回の計画（案）では、自転車駐車場を公園の中に配置し、発生する跡地を最大限どのように活用するかという視点で、民間の可能性を調査した。今回の計画（案）で建付けが変わってくる部分があり、現時点で調査を行った場合どのようになるかを検討しなければならない。繰り返しになるが、文言としては売却・貸付け等は記載させていただき、今後、民間活力の調査を踏まえて検討していくことになろうか

と思われる。

- ◎： 上位計画があるため削れないという理解でよいか。
- ： その通りである。
- ◎： 分かりました。
  
- ◎： 南口駅前広場を中心とするものと鹿沼公園を中心とするものを考えると、基本的には「老朽化した公共施設を複合化したい」というところでスタートしたわけだが、鹿沼公園と図書館跡地に集約しようとする中で、鹿沼公園を中心とするものは憩いの場所であり、学習の場所であり、コミュニケーションの場所であり、静かな中にも楽しい場所になると思う。逆に駅前には、公民館跡地をどうするか、駐輪場をどうするかと考えた場合、南口として一番シンボルになるのは駅前広場や鹿沼公園である。その2つが両立して良くなっていたらいいが、その前に南口の駅前が交通機関であったり、南口と北口の交流をよくしたり、高齢者や身体障害者に配慮したものができるかどうかを考えて生かしてもらいたい。もう1つ、児童館は公共的なものとして利用しているが、複合化して移転となるとどうなるのか。自治会の方にお返しするのか、あるいは撤去してしまうのか。
- ： 駅前広場について、施設の再編を考えていく中で、同じ時間軸で進めていくのは難しい。市民検討会、オープンハウスで、駅前広場に対する意見を多々いただいている。施設整備がどのような方向性になるのか、今後具体化する中で、今回の市民検討会の意見をしっかり整理していきたいと考えている。また、あさひ児童館の件は、自治会と意見交換していこうと考えているところである。新たにできる施設の使い勝手の部分で対応できるのか、そのあたりも整理していかないといけない。運用面・利用面の話になるため、自治会の方と意見交換していくことを考えている。
  
- ◎： 感想でもよいと言われたので、申し上げる。なかなか力作である。事務局が市民検討会の意向を踏まえて作ってくださったと思う。同時に配られた前回の計画案の資料を見たときに、パブコメが900通も集まり、みんなが「えー」と言ったところをよく踏まえて作ってくださったと思う。特にP11の「まちづくりの基本計画」、まちづくりのグランドビジョン・コンセプトがなく、辻褄合わせになっていたのに反発を感じたが、今回最後の「パークフル」「ウォークブル」「リバブル」、委員自身でも出せなかったところをうまく汲んでこの3点にまとめてくれたのはとても感謝している。
  
- ◎： P13の一番下、段落で下から2行目のところに「一定規模の運動施設の

配置の見直しや他公園との役割分担なども含め考えます」とあるが、テニスコートは公園課職員に確認したところ稼働率98%と高く、また、市内のテニス協会・ソフトテニス協会会員が計9,100人と非常に多くの方が利用されている。このことから、4面全てを是非残してほしいとスポーツ協会として考えている。もう1点、野球場について、ここには触れられていないが、オープンハウスのパネルでは廃止ということで、スポーツ協会としては残念であるが、「他公園との役割分担なども含め考えます」と書いており、横山公園の野球場も老朽化が進んでおり、非常に使い勝手が悪くなっている部分も一部ある。廃止するにあたっては、役割分担というところで既存施設の修繕・改修、設備充実を図っていただきたいというのがスポーツ協会としての意見である。回答は不要である。

- ◎： P16の蔵書規模60万冊の記載、現状からどう変わるのかという書き方が分かりやすいと思う。今、確か34万冊だったと思うが、そうすると、規模は変わらないのに蔵書数は倍近くになるため、どのようになるのかと疑問に思った。例えば海老名の図書館の様に天井に本棚を設置するという方法もあるのかもしれないが素朴な疑問である。
- ： 図書館の蔵書規模の書き方については検討する。現状では35万冊程度であり、そこから増やしていくのが図書館の考え方である。保管場所確保の考え方について、今図書館は約4,100m<sup>2</sup>あるが、図書館として使われない部分や、図書館の地下に大きな機械室がある。新しい施設では機械室が不要となってくるため、そういったスペースを活用しながら本をどれだけ置けるのか検討していきたいと考えている。
- ： 計画の中でももう少し詳しい説明を記載した方がよいと思う。数字だけみると勘違いされてしまう。
- ◎： P26の(エ)その他の3番に「館内のサインは、多言語での表示を検討します」となっている。とてもありがたいが、現在相模原市内で生活している外国人は英語を使わない外国人の方が多い。また、これからも外国人が増える見込みがあると思う。外国人なら英語が全部分かるわけではなく、国際交流ラウンジでも日本語含めて11言語に対応しているが、その全てに対応することは難しいと思う。ピクトグラムや優しい日本語のルビを振り、絵文字で矢印があれば通じる。また、子どもにも通じやすくなると思う。6番の「災害時を想定し～」とあるが、大事なことだと思う。大和市のシリウスに行った時も、ここの防災は大丈夫かなと真っ先に思った。あまりにもエレベータ等のサインが見えづらい。サインの位置が高いため、車いすの視線、子

どもの視線からあまりサインが見えない造りだったため、配慮していただきたい。

- ： 確かに多言語で全部を網羅するのは難しいので、意見をいただいたピクトグラムだとか、言葉・言語に関係なく皆様が分かる表記等の工夫も含めて検討していきたい。
  
- ◎： 防災の話が少し出たが、施設としても災害に強い施設を謳った方がよいと思っている。これだけの施設になると安全・安心も必要になってくる。是非、災害に強い施設と入れていただくと安心できるためお願いしたい。
  
- ： 意見を踏まえて事務局でも改めて検討したい。オープンハウスのパネルを議論している時だったと思うが、公共施設だけが防災のことを考えるのではなく、公園もまちづくりも防災の観点が必要だという意見があった。計画のどこに入れるのかを検討したい。
  
- ◎： P16の「太陽光発電設備の設置や省エネルギー設備・機器の導入」は、必ずしも太陽光発電設備に拘らなくてもよいと思う。例えば、再生可能エネルギーに言葉を変えてもよいと思う。例えば、水素発電の設備をはじめ、色々選択肢はあるので、必ずしも太陽光発電設備にする必要はない。2つ目に、P25の活動空間の中のホールについてである。資料1-2にもホールに関しては様々な意見が記載されているが、「照明や音響について基礎的なものとします」は、考え直した方がよい気がする。例えば、昭和50年代に行われていた活動と、現状の市民活動を比べるとアマチュアのオーケストラ、ロックのバンドにおいても、レベル・質が上がっていると思う。現在ある多目的ホール、あるいは多目的室の音響や照明設備をそのまま持ってくると、市民のレベルに合ったものがない気がする。資料1-2の中にも、きちんとした音響設備を備えたホールが必要になってくるという旨の意見があった。多目的ホールは相模原市内に沢山ある。グリーンホールや杜のホール、青少年学習センターのホール等あるが、どれも音響環境がひどい。お話にならないという失礼だが、音響がひどいので、音響に拘ったホールを作った方がいいのではないか。そうすると他の施設とのスペースの取り合いがでてきてしまうため、そこはまた考えないといけないと思う。3つ目に、先程、防災関係の話が出たが、以前図書館協議会を傍聴したときに出た意見として、市内にいらっしゃる自閉症や精神障害をお持ちの方がどこに避難するか、避難しても安心できる新しい公共施設を作ってほしいと意見が出ていた。防災面含めて、精神障害をお持ちの方が避難しやすい施設を目指してもよいと思う。福祉避難所という言葉があると思うが、それに伴う施設も備え

なければならない。雑多にある避難所とは違い、支援を必要とする方々が避難できる施設が必要となってくると思う。相模原市内の避難所も体育館に避難して雑魚寝してみたいなイメージがある。そうではなく、トリートメントができる施設があった方がよいと思う。そういったことができるということは、普段からも使いやすい施設になると思う。もし災害の面を表に出すのであれば、そこらへんも目を配った方がよいのではないかと思う。

- ： まずホールについて、多目的なホールがよいか、専門的なホールがよいか様々な意見がある。専門的なホールとなると市全体でどのような文化的な施設を整備していくのかという話になると思う。3年程前から市民検討会で検討を進めていく中で、当時の委員の意見では、ホールについては素朴なホールで、特に高校生が演劇の大会をやることがあるので、そういった方たちが自由に操作できるレベルのものを求める声があったため、そういった検討内容を引き継いで計画案のたたき台に記載している。防災について、地域防災計画において、どのような施設が必要か市全体で整理する必要があると思う。配慮が必要な方については福祉避難所を整備しているため、基本的にはそういったところで整理していくことになると思う。
- ： P 1 6 の太陽光発電設備について、意見を踏まえて検討したい。今書いている文言は相模原市の脱炭素ロードマップの中で、市の率先した取組として、このような記載があり、整合を図って記載している。当然屋根の上に何か機能を持ってくるとソーラーパネルを置く場所がなくなる。これから施設の具体的な検討をしていく中でどのような再生可能エネルギー利用設備を導入できるのか考えていきたい。
- ◎： 障害者避難所について、答弁を聞き取り損なった。先程の意見の新しい施設に自閉症の方等も避難できる考えで作るのは賛成です。ただ、ここだけになるとだめだと思う。話が広がるが市全体の避難所も同時並行にしていかないと一か所に集中してしまうため、よく考えていただきたい。
- ： おっしゃるとおりで、市全体の中で検討していくものだと思う。施設の中全体としてはユニバーサルデザインの考えを取り入れてどなたにも使いやすい施設にしたいと思う。
- ◎： 駐車場の台数に関する件、公園課に聞いた話では平置きと書いてあり、立体が駄目であるのは市の行財政構造改革プランの中で建物は増やしてはいけないとお達しで現状難しいとの話でした。平成29年の計画案のP 1 3の自動車駐車場の概要に、合計台数218台と記載がある。現時点で218台必要なのに、たたき台のP 1 8には今回140台と書いてあり、こんなに

減らして大丈夫なのかと個人的に思う。公共施設WGの方も魅力的なものを作るために頑張っていたいただいていると思うが、140台で足りると思うか、教えてもらいたい。

- ： 駐車場の台数について、現時点では平成29年度の時に想定していた140台を踏襲している。施設が魅力的になることによる台数の検討も必要と思っている。市全体の方向として駐車場の適正利用の考えがある。駅が近いため公園利用者以外の方が止めていることもある。有料化すると現状の必要台数より減る可能性もある。それも踏まえつつ必要台数を検討したいと思う。
- ◎： 公共施設WGの方で意見をお持ちだったら伺いたい。
- ◎： 事務局で意見があるのは理解した。「平置きを基本として考えます」は、文言をいれる必要があるのか。検討するのであれば個人的な意見だが、疑問がある。
- ： 上位計画で新たな建物の建設が難しいことから、「平置き」と記載している。平置きで現在140台と記載しているが、図書館敷地だけでももっと台数を置ける可能性があるため、平置きとは記載するが台数は今後検討したい。
- ◎： 私は駐車場の台数を増やすことは反対である。現状140台程度必要だとしても、その8割程度に抑えたほうがよい。長期的に考えて、鹿沼公園では夏に大きな祭りがある。年末年始、近所のスーパーへの買い出し等で周辺が渋滞する。その点を考えなくてはならない。迷惑を被るのは地域の方であり、道路も片側2車線ではなくあまり広くない。自転車でも通るのが危ないくらいだ。駐車場については有料化も検討課題であるが、台数を増やすことは反対である。
- ： 今は140台と記載しているが、ご意見を踏まえ検討の中で必要台数を考えていきたい。
- ◎： P22とP23に各施設の機能面の記載はあるが、運営面の記載がない。「運営方法を検討し」をもう少し具体的にしたらよいと思う。民間活用や活力の導入とあるが、各施設とも大切に引き継いでいただきたい運営方法があると思う。特に青少年学習センターは青少年の市内唯一の施設でもあり、青少年団体については減免貸出もある。公民館なども利用料金・利用方法等あるかと思うのでその検討について記載いただければと思う。
- ： 運営方法は、細かいところまで検討できていないのが実情である。複合施設として整備した場合、その中に図書館、公民館、青少年学習センター、児童館等の様々な施設がミックスされるため、どのようにうまく整合させて、施設全体として有効な利用ができるか、行政で検討したいと思う。



- ◎： では、市民検討会では運営面は検討しないということか。
- ： 運営面で一番大きな問題は貸室の話だと思う。誰もが柔軟に利用したいという意見があり、それを何とか取り入れるように検討したいと思う。
- ◎： 了解した。施設がどうなるかわからない中での運営面の意見であったが、どこで話し合うのか気になっていたので質問した。
- ◎： 子育て機能について、今、大野北公民館にある保育室を複合化後もそのまま継承してもらいたいと思っている。子どもを連れて活動できるのはよいことで、かつ、子どもの様子を見守る専門のグループもある。
- ： 保育室については、どこの公民館にもある基本的な機能・施設であるため引き継ぐ方向になると思われる。ただ、保育室の利用状況は、イベントがあり保育が必要な時に利用がある反面、そうでないときは使われていないこともあるので、有効に使われるような形で整理したい。計画案P25の「子どものためのスペース」に、保育室スペースの文言を記載している。
- ◎： 先程の駐車場の件、前回欠席だったため経過が全然分からず驚いた。周辺道路の目の前で認定こども園をやっているが、ちょうど出口がこども園の前にある。入口は鹿沼公園側で、出口がこども園側である。園の前の道は2台すれ違うのがやっとなで、ガードレールがあることで歩行者の安全は保たれているが、あそこを全面的に駐車場にすると安全面が気になる。駅から歩いて来て、当初は緑地的な広場になって見通しが良くなるとのことだった。そのあたりを踏まえて検討しないと歩行者の安全や周辺の安全が気になるので、そのあたりを含めて台数を決めないといけないと思う。
- ： 公園WGでも、駐車場だけでは無機質な場所となるので、パネルでは周りを緑で囲っている図としている。駐車場だけにするのではなく、緑を確保しつつ、現在の図書館駐車場敷地に、緑地も設けるデザインを考えている。現状何台かも決まってないため具体的にお示しはできないが、いただいた意見は考えていきたい。
- ◎： 今の回答について。今の図書館の敷地を無機質な駐車場でなく緑豊かな駐車場とした時にも、その時に出入口をどこにするかは、確かに問題点である。
- ： 幅員が狭いことも承知しているので、駐車場の出入口も含め安全面をきちんと検討していきたい。
- ◎： 駐車場の件、敷地としては現在よりも広くなるという認識でよいか。そうになると、道路混雑が増すことになる。それを考えると地域の方の環境・事情等を一番に考えるべきである。

- ： 駐車場の台数についてか。
- ◎： 台数もそうだが、立体化についても含めてである。
- ： 公園WGでも立体化を考えていた。市全体の計画において、新しい建物を作るのが難しいということがあった。現在この計画上で「平置き」と整理し、その上で安全面を確保し、かつ緑地的なことも考えて必要台数を確保していきたいと考えている。
- ◎： 必要なものを作ることですら駄目ということが理解できない。使われるかどうかわからない施設をつくるのであれば問題かもしれないが、ある程度利用者も想定される中で、必要な台数を確保する必要がある。
- ◎： 私も同意で、新しいものは作らないというのは、この場で注文することはおかしいかもしれないが、市の方針なので、こういう意見を聞いてどうなのだということは、責任をもって上げていただきたい。必要なものを作らないのはおかしいと思う。縮小縮小で、財源を確保して推進と言っているが、確かに古いものを新しいものに複合化して作ることは推進のようだが、古いものを使い続けるためのことなのに推進ではないと思う。財源確保のために売るのもピンと来ない。跡地に関して、財源確保という言葉が多く、結局は売却・貸付けの方向で進むのだと感じた。もっと跡地利用のことを考えられたらよいと思った。お金がないからという前提の計画のつくり方に疑問を感じる。この場で今の想いの実現を検討するのは難しいかもしれないが、おかしいところは伝えてほしい。話は戻るが駐車場に関しては、図書館の場所に駐車場を設置するのは、前回、前々回で気がついた。今までよりも建物から駐車場が離れることになる。複合施設なので、多様な人が使うが、施設からは駐車場が離れてしまう。車椅子の方は折角来た施設に入るまでに雨の日や、風の日施設に入りにくくなるのが気になった。どこまで考えた上でよしとなったのか。もう少し教えてほしいと思う。
- ： 駐車場関係の支援が必要な方への対応について、現状の計画案での位置は健常者向けだが、障害者用等については、施設に近接して設置するという考え方で進めていきたいと思う。ユニバーサルデザインという文言の中で読み取れるか分からないが、その視点は計画を進める際には取り入れていきたいと思う。
- ◎： パブリックコメントは行うのか。
- ： 今後について、ある程度形がまとまった時点でパブリックコメントの予定を考えたい。
- ◎： それを見て皆さん考えるので、入れ込めるものは反映して分かりやすくしてほしい。

- ： わかりました。ありがとうございます。
- ： 公共施設整備において車いす利用者等向けの専用駐車場を設けるのは基本中の基本。文言として書いてないのは親切でない。駐車場の場所が決定したわけではなく、あくまでもエリアという話であるため、随時詰めていただきたい。
- ◎： 防災の件だが、P 26の記載の「風水害一時避難等の機能を検討します」で、複合施設に限らず公園とかまちづくりも含めた中で、公園の機能には防災が当然であり敢えて記載していないと思うが、公園の新しい在り方として一時避難場所というだけでなく、「使える防災拠点」が注目されており、それを具体的に文言として入れたほうがよいと思う。特に公園WGの中で、屋根のついた広場空間の設置等を活用して炊き出し等を検討したが、それを盛り込んでほしい。鹿沼公園は台地上で水が得にくいにもかかわらず白鳥池があり、人工の池ではあるが、それを生かしての公園である。そのため、相模原市は水の得にくい土地柄である中で、雨水の活用として、一時的な生活用水や中水利用について、検討・実践することを文言に入れることで鹿沼公園が防災公園の機能として評価され、全市的な見本となると思われるので記載していただけるとありがたい。
- ： 公園の防災の視点は記載していないが、書き加えを検討していきたい。
- ： 雨水の集水機能や、新しい建物が危険にさらされては本末転倒なので、水処理は公園に由々しい問題であり是非書き加えて頂きたい。建物の中水利用の活用、園内樹木の用水など、公園の中での循環の仕組みを見直していただきたい。今のご意見を加えてもらえるとよい。総合公園や運動公園といった都市基幹公園ではよくある機能であるが、住区基幹公園でこれを実践している例はなく、パイオニア的事例にもなれると思うので、ぜひ検討してもらいたい。
- ◎： 先程、運営方法に関する議論の件、現在は検討が十分ではないが今後行政で検討していくため市民検討会で検討しないのか、とのことだったが、現状の市民検討会での議論は難しいと思う。しかし、一度締めくくった後、新しくできる複合施設のあれこれを運用面を含め、市民と民間と行政で一緒に検討する場を設けてはどうか。市民の意見を入れましたというのは、オープンハウスやワークショップ等のように短期的に行うものに加えて、複合施設の検討委員会的なものを立ち上げて、運営面を含めて検討していくことができたらすごくよいものが生まれると思う。
- ： 8月の検討会の際にも、同様の意見をいただいたが、ご意見は改めて受け

取った。計画を策定して終了ではなく、引き続き事業者だけでなく、市民を含め、形が未定なのでここでは具体的にお伝えできないが、対応が可能な形で検討していきたいと思う。

◎： 土地利用の計画のところだが、以前は「地域のつながり」などソフト的な観点であるが、ここに記載のあることを進めるために、跡地の利用を自転車駐車場の仮設で使えるというのがメインに感じる。縮めで「財源確保の取組の検討」となっているのが、今まで話してきたこととの兼ね合いで、話し合いに出ていた「地域で使える場所」などの可能性が見えにくくなっており、排除されたか分からないが、それが全くの白紙でなければ、市民との対話の実施等も「地域課題の解決」に入れてほしい。全体に関してだが、どんな公園や施設になるのか全然分からない。本当はもっと話したかった。公園にテントを建ててなど、話しきれなかったアイデアも沢山あったと思う。検討会の成果として1冊まとめて添えられないか。皆に見てもらおうというよりは、実際の計画が策定された後に、皆が話し合ったことを見て使ってほしい。これまでの苦労が何も残らず引き継がれないとがっかりだし、次検討する際に目の前の話に持っていかれてしまうと思うので、すごく残念だと思う。毎回の議事録があるからよいということではなく、何かまとめたものがあるとよいなと思った。

●： まず、第3章について、表題が土地利用の計画となっており、主に土地活用のことを触れている。今回オープンハウスで一般の方に聞くと、「北口と南口の連携」が課題と考えている方が多かった。パネル説明の際は、ソフト的な課題解決策を説明したが、物理的に北口と南口が離れていることによって、ソフト的な対応部分も課題がある、と話す方が何人かいらっしやった。現在のたたき台の中では、間に合わなかったので入れていないが、まちづくりの方針とか、その辺りで北口と南口について整理しようと考えている。まちづくりWGとしてはP8で記載したとおり、これまでの検討の中で出た様々なアイデアをこぼれない様に、要約して載せている。この内容を基に、オープンハウスで使用したパネルを整理させていただいた。跡地活用については様々な意見が出ているが、地域での活用を検討したい件については、今後、課題解決を検討していく中で、「段階的にこうした今後の地域課題や地域の様々なニーズに対応するための土地活用の検討に取り組む」と入れさせていただいている。長期的な視点等に立って、財源確保のための土地の利活用について、様々な視点から検討していきたい。

●： 今回の議論の結果は、これまで3年近くかけて皆さんが検討していただい

た結果であり非常に重要だと思っている。その検討の集大成が、計画（案）であると考えている。現在作業中ではあるが、アンダーライン部分は、今回の計画をつくっていくにあたって、皆さんの意見を踏まえて前回と変えた部分である。見ていただくと、殆どにアンダーラインが入っている。皆さんの議論を基に変えてきたところである。但し、そこに盛り込めない意見も多数あるかと思われるため、そうしたものについては、これまでも議事録等やふちのベニユース等でまとめてきたため、これからどう活用できるかを検討していきたいと思う。

- ◎： P 1 9 の駐輪場の件、自転車の園内乗り入れ不可の徹底を図りたいとの記載があるが、現状の公園だと、入口に鉄柵が設けられており、車いすや乳母車の方が入ってこられない。そういう弱者の方に対して、P 8 に記載された「緩やかなつながり」と矛盾するので、その点を配慮してほしい。
- ： 自転車は入りにくいですが車椅子は入れるなど、新しいガードも出ているので、今回の公園のリニューアルの際は、それらの活用で車椅子の方なども使いやすくしたいと考えている。
- ◎： 施設の集約化を考える中で、複合化のメリットって何だということを考えた時に、例として、まちづくりセンターに目的があり利用した人が、図書館や公園が近くになることで、待ち時間に図書館で本を読んだり、気持ち良い空間を知ること、市内にこんなに良いところあるんだということを知るきっかけになることなどがメリットになるよねという話が出ていたと思う。このメリットについて、計画の中でももう少し具体的に表現できればよいなと思った。
- ： 確かに、パネルを作っていく中で、まちづくりセンターの窓口は、本人の意思と関わらず、人生の節目の届け出等で利用することもある。そういったきっかけでたまたま来たところから、図書館を利用したり、他の方の活動が見えたり、新たな活動に繋がるきっかけになればという考えをマップにも入れてきたと思う。これには、諸室のことしか触れていないが、そういうきっかけの一因となるレイアウトなども含めて、いただいたご意見を施設全体として考えて検討したいと思う。
- ◎： これまでも防災については関心が高く、多くの意見が出てきた。防災に関するもので1章を作った方がいいと思う。建物だけの防災ではなく、公園だけの防災でもない。建物が公園の中にできることは大きなメリットであると思われる。そのため、各々での対応とするのではなく、施設と公園が共同し

てできます、という部分をアピールしてほしい。

- ： 防災に関する意見は多数いただいた。章立てをどうするか等はこちらではお示しできないが、何らかの形で今回の計画全体の中で対応していくことが分かるような形で取り入れていくことを検討したい。
- ： 私も防災の件は同感である。資料の構成として、問題がありそれを解決しますという流れで、ネガティブからポジティブの作りとなっている。それはやむを得ないが、そうすると集約化することは、仕方ないからやっているという印象が強く残ってしまう。それを打破するためにオープンハウス資料を作ったつもりだったが、そのパネルに対する市民からの意見の中にも、公園の中に施設が入っていくことによるネガティブな意見が感じられる。公園に入ることの良さが売りなのに、まちづくり、公園、施設分かれているのは説明上やむを得ないことであるが、公園の中に入ることが、防災や市民の活動にとっても良くなる等ポジティブなことを強く推すことで、計画を読んでいく中でこれまでのポジティブな意見交換の内容が伝わってくると思う。
- ◎： 座長の考えに反対して申し訳ないが私的にはこれは妥協の産物である。前期の市民検討会で、各施設を1か所にまとめるという案があって、選んで決めてきた経緯があり、仕方がないということにしている。あくまでも仕方がないので、メリットという風に全面的に出されるのは私的には違和感がある。ウォークアブルなまち、そのまちの賑わいというのが根本的には、まちの道を歩く人が多くなっていくことがまちの賑わいに通じる。色んなところにあった施設を一つにまとめて、そこに人が集まるようにするというのは、よい面もあるが、逆に考えると外を歩く人が1か所に集まって他所に行かなくなることもあるので、そこらへんを考えると、妥協の線で私は構わないと思う。
- ： 考え方もいろいろである。ポジティブな面、ネガティブな面をしっかり提示する案があると思う。良いことだけならべて、それに隠すようなものは違うと思う。
- ： いくつか反映してほしい点がある。P 1 1から、これまでの取組状況が記載されているが、これからまた資料を整理されると思うが、まちづくり・公共施設・公園の基本方針がそれぞれある。そこに、各グループが考えたコンセプトをタイトルの的に明示すると、目指した方向が見えてくると思う。やっけていく中で、公園・まちづくり・公共施設が分断したままで違和感があった。ランニングコストやイニシャルコストも同様であるが、これが一体化すると、どこが損失になって、何が抑えられるのかがわからない。前回の基本計画（案）のP 1 2で違和感の原因が分かった。施設維持修繕費の推移が記

載されているが、公園の維持管理費が膨大であるにもかかわらず、単純に施設だけの費用が掲載されている。今回の議論の中でも意見をいただいていたが、例えば樹木の維持がどれだけ難しいか。公園に携わっている人間で木を残したくない人間はいない。残せない、あるいは残すことによって他の木を枯らせてしまう可能性がある。場合によっては倒木することによって他者に被害を与えてしまう。だから、やむを得ずやることがある。そういったところがあるので、全部ひっくるめて統合したときにどうなるかを是非算出していきたい。基本計画の中である程度予算計画を盛り込まないといけないはずなので、是非お願いしたい。

### 3 その他

事務局より、本日委員の皆様から頂いた意見を踏まえて有識者協議会委員との協議、庁内関係課との調整を行い、骨子（案）を作成していくこと、意見や質問は10月3日（月）までにメール、電話、郵便で受け付ける旨を伝えた。また、次回市民検討会での開催日は、決まり次第連絡する旨を伝えた。

以上

出 欠 席 名 簿

まちづくりワーキンググループ

氏 名	出欠席
飯田 秀雄	出席
茅 弘秋	出席
今 美和子	出席
櫻内 康裕	出席
白石 一郎	欠席
進 晴菜	欠席
鳥海 宗紀	欠席
濱野 麻利子	出席
森光 雄一郎	欠席

公共施設ワーキンググループ

氏 名	出欠席
太田 裕	出席
小方 明	欠席
小野澤 行雄	出席
上遠野 イク子	出席
金 愛蓮	出席
佐伯 明美	出席
佐藤 正光	出席
高柳 眞木子	出席
古谷 明李	出席
森田 朱音	出席

公園ワーキンググループ

氏 名	出欠席
今井 寿	出席
荻野 弓希子	出席
荻原 ますみ	出席
城田 大介	出席
田崎 一宏	出席
山口 清孝	出席
山本 里紗	出席

有識者協議会委員

氏 名	出欠席
伊藤 眞木子	出席
大谷 康晴	出席
押田 佳子	出席
小島 仁志	欠席
杉崎 和久	欠席
野口 直人	出席
山口 直也	欠席